

パブテクが取り組む自治体DXについて

2025/5/31
株式会社パブリックテクノロジーズ
代表取締役社長CEO 青木 大和

自己紹介



1994/3/9 東京都生まれ

株式会社パブリックテクノロジーズ 代表取締役社長CEO (スタートアップ)

パラリンピックアルペンスキー 日本代表強化指定選手 (アスリート) 2022北京パラ出場

法政大学第二高等学校 (神奈川県) → Black River Falls High School (アメリカ) → 慶應義塾大学法学部政治学科

Japanese Dynamism

地域から世界へ、日本を躍動させる



会社名	株式会社パブリックテクノロジーズ
設立	2020年5月
経営陣	代表取締役 CEO 青木 大和 代表取締役 COO 杉原 裕斗 取締役 CTO 森宮 惺
メンバー	45名(業務委託含む) 2025年2月現在
所在地	東京都中央区日本橋本町3-8-4 日本橋ライフサイエンスビルディング4 9F
事業内容	GovTech事業の運営



パブリックテクノロジーズは、 自治体経営を持続可能にするソリューションを提案・実装。

事業セグメント①

自治体DX事業

自治体スーパーアプリ



地方自治体に特化した多機能スーパーアプリを開発・運用。住民サービスの開発・導入費やマーケティング費用を抑えながら、自治体のデジタルトランスフォーメーションを加速させます。



自治体の歳入を減らす

持続可能な自治体経営へ

事業セグメント②

AI行財政事業

自治体AIアシスタント



自治体業務の効率化と生産性向上を支援するAIソリューションを開発・提供。行政業務に特化したデータベースの構築と業務フローを再現するシナリオアシスタントが自治体職員の業務を飛躍的に効率化させます。

職員の生産性を向上させる

データとAIを活用し、自治体と共に新しい行政の形を創造していきます。



まちの便利サービス、オールインワン

パブテックは、地域住民の利便性向上と自治体業務の効率化を実現する地方自治体向けスーパーアプリです。自治体の様々なサービスをデジタル化し、一つのアプリに統合することで、住民の暮らしをより便利に、自治体の運営をよりスマートにします。

✓ 暮らしを支える機能を一つに

公共ライドシェア、オンデマンド交通、地域通貨、住民アンケート、健康ポイント、防災情報など、地域に密着したサービスを一つのアプリに集約。自治体ごとに導入機能の選択が可能です。

✓ デジタルの力で自治体の業務を効率化

住民アンケートのデジタル化や、健康ポイントの自動集計、防災啓発のオンライン配信など、職員の業務負担を軽減。紙や電話での対応を減らし、データを活用した施策立案が可能になります。





パブテック機能一覧



交通空白地に移動手段を届ける
AI配車 (公共ライドシェア・オンデマンド交通)



まちの情報、いつでもだれでも
AIチャット (自治体向けAIヘルプデスク)



すべての基盤となる機能
地域通貨 (地域ポイント)



住民の健康意識を高める
健康ポイント



届けたい人に適切なお知らせを
まちのお知らせ配信



移動ポイント



ゴミ予約



チェックイン



電子申請



アンケート



AI配達



防災啓発

機能はこれからも
増え続けます

**最小限のコストで
他自治体の成功施策を展開可能**

初期開発費やユーザー獲得にかかるマーケティング費用を抑え、既存の成功事例を活用することで、迅速かつ低コストでの導入が可能。また、統一された管理画面により、職員の学習コストを最小限に抑えられます。



小規模自治体でも、最低限の人員・財政負担で行政DXを実現

住民の移動データ、アンケート結果、地域通貨の利用状況、住民の健康意識など、部門を超えた横断的なデータを掛け合わせることで、従来見えなかった課題や傾向を浮き彫りにします。

**横断的データを多角的に解析
確度の高い政策を**

地域ポイントを住民に付与することで、自発的な行動を促す仕組みを提供し、持続可能な地域づくりを支援します。地域商店や公共サービスで利用できるポイントは、地域経済の活性化にも貢献します。

**ポイントインセンティブを活用した
住民の行動変容**



無駄な作業を減らし、意思決定に集中できるAI

パプテックAI行政は、自治体業務に特化した対話型AIサービスです。情報収集から行政文書の作成、問い合わせ対応まで、AIが業務をサポートし、職員の負担を大幅に軽減します。既存の生成AIとは異なり、自治体独自のデータベースを活用し、業務フローに沿った適切な支援を提供。意思決定を支える環境を整え、日々の業務を飛躍的に効率化します。

✓ 業務の自動化とサポート

議会答弁や政策提案書、広報資料などの文書作成をAIが支援。自治体特有のフォーマットに対応し、必要な情報を整理・要約して提供します。

✓ 自治体業務に特化した設計

自治体独自のデータベースを構築し、過去の事例や関連情報を即座に検索・活用。職員の試行錯誤を減らし、意思決定をスムーズに。





特徴①

思考プロセスに寄り添う対話型サポート

パプテックAI行政は、単なる回答ではなく、対話を通じて職員の考えを整理し、的確な意思決定を支援します。

特徴②

自治体業務に特化したパーソナライズ設計

自治体職員が直面する実務の流れに寄り添い、必要な情報を適切に整理・生成することで、精度の高い成果物を提供します。

既存の生成AI



パプテックAI行政



既存の生成AIは...

- ✖ AI利用スキルにより回答の質に差が出る
- ✖ 知識の範囲でプロンプトを作成するため、情報元が限られてしまう
- ✖ 求める回答が得られるまで何度も確認→プロンプトの再入力を繰り返さなければならない

パプテックAI行政なら...

- ✔ 対話しながら作業を進めることでプロンプトを**試行錯誤**せずに精度の高い成果物が完成する
- ✔ **各ステップで内容のチェックと修正**が可能
- ✔ **自治体独自のデータベース**を参照するため情報源が豊富

シナリオ機能

業務フローを自治体ごとに最適化し、「シナリオ」としてテンプレート化

「この業務では、まず〇〇を確認し、次に△△を検討する」といった手順を一括で保存でき、繰り返し活用可能。

推敲指示/回覧機能

成果物の修正は、コメントで簡単に。

関係者への回覧や、指摘の受付もAIがサポート。

関係者や上司と直接回覧でき、受け取った側もコメントや修正依頼が可能。AIが指摘を受けた推敲案を提示します。

自治体間共有機能

自治体間の垣根を越える情報共有

遠く離れた自治体の類似事例を参照したり、担当者にコンタクトを取ることが可能に。情報共有は承認制で、機密情報の保護やアクセス制御が徹底されています。



自治体専用データベース

自治体ごとの特性に応じた独自のデータベースを構築し、自治体固有の課題に即した回答を生成します。

問い合わせ対応の効率化

「パプテックAIチャット」で収集した、市民からの問い合わせをAIが取りまとめ、緊急度と重要度を判定したうえで回答を事前に準備します。

パブテックAI行政の反響

📅 2025/05/08

無駄な作業を減らし意思決定に集中できるAI「パブテックAI行政」α版をローンチ。全国100自治体以上がトライアル導入を決定

AIとデータの力を活かし、行政関係者がテクノロジーの進化に誰一人取り残されないようにします



デモをご覧ください！

デモに遷移します

パブテクAI行政のご相談はこちらから！



